

学校法人 東京聖徳学園

聖徳FLASH

第129号

令和5年12月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ

https://www.seitoku-u.ac.jp/gakuen/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 光英VERITAS高等学校
- 聖徳大学三田幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳大学八王子幼稚園
- 光英VERITAS中学校
- 聖徳大学多摩幼稚園

聖徳FLASH



INDEX

- ▼学園……………1・2・5・8
- ▼大学院・大学短大……………1・2・3・4・8
- ▼幼児教育専門学校……………5・8
- ▼光英VERITAS中・高……………5・8
- ▼取手聖徳女子高……………2・5・8
- ▼小学校……………6・8
- ▼幼稚園……………1・6・7
- ▼インフォメーション……………8

「学園創立九十周年記念式典」挙行

想いをチカラに 未来を創る

学校法人東京聖徳学園創立九十周年記念式典が十月六日(金)、聖徳大学川並香順記念講堂において盛大に挙行されました。国内外から八百五十名のご臨席を賜り、これまでのご厚情への感謝を表すとともに、さらなる発展へ向けて鋭意努力することを誓いました。

はじめに川並知子名誉学園長の式辞が読み上げられ、九十年前は革新的であった女子教育と幼児教育を原点とし、今日では十八の機関

を有するに至った学園の歩み振り返り、「皆さまの支えがあったからこそ」と謝意を述べました。

また、川並純理理事長学園長は、「建学の精神「和」のもとに人間教育を大切にしつつ、時代の変化に合わせて、Global Diversity・Sustainabilityの三つを起点に教育改革を進めてきている」と語り、「創立者の思い、学園の歴史を大切にしながら、次なる百周年に向けての歴史を刻んでいきたい」と締めくくりました。

その後、本式典のメインアトラクションとして、光英VERITAS中学校・高等学校の生徒によるダンスパフォーマンス「Aiming for the Top トップへの挑戦」が披露されました。吹奏楽部、マーチングバンド部による「ハナミズキ」銀河鉄道999の演奏に合わせ、バトン部、ダンス部をはじめ各部活動代表者たちが十年後の創立百周年、さらにはその先より良い地球の未



川並純理理事長・学園長



光英VERITAS中学校・高等学校の生徒によるダンスパフォーマンス「Aiming for the Top トップへの挑戦」



聖徳大学グループの幼稚園から大学院までの代表者たち

九十周年という節目に、学園創立の原点と建学の理念を再確認し、約二時間にわたる記念式典は盛会裏に終了しました。



ピアノ演奏を行いました。学生・生徒・児童・園児たちの活躍によって華やかな式典となりました。

創立九十周年記念式典

聖徳大学三田幼稚園

十一月十四日(火)、聖徳大学三田幼稚園の創立九十周年記念式典と祝賀会を挙行しました。式典は、武井雅昭港区長をはじめ多数の来賓と、五歳児松組が一堂に会して行われました。

はじめに、川並純理理事長学園長より、幼稚園創立者の川並香順・孝子両先生の熱い思い、設立の趣意、九十年間の変遷が式辞の中で述べられました。続いて来賓祝辞があり、その後、お祝いの記念として作られた歌『みんなおいでよ』と『パレード』喜びの歌が松組の園児と女声アンサンブル「おとなり」により披露されました。子どもたちの笑顔と美しい歌声が会場に響きわたりました。

祝賀会では、野田聖子聖徳大学名誉学長衆議院議員より三田幼稚園の思い出が語られ多くの方が歓談されました。祝賀会でも「おとなり」によるコンサートがあり、楽しいひとときとなりました。



今回の式典で沢山のご来賓から励ましの言葉をいただきました。このことを力として今後も子どもたちのために精励してまいります。

ベトナムの国立ハノイ教育大学が学術交流及び連携に関する協定を締結



協定を交わすグエン・ヴァン・ミン学長と川並純理学園長(右)

聖徳大学ならびに国立ハノイ教育大学(ベトナム社会主義共和国・ハノイ市)は、十月五日(木)に学術交流及び連携に関する協定を締結しました。

国立ハノイ教育大学は、一九五一年に設立されたベトナムでも歴史のある国立の教育大学です。ベトナムの首都ハノイにキャンパス

を置き、二十の学部を擁します。学部生・院生合わせて一万四千名を超える学生が在籍する規模の大きい高等教育機関です。

具体的連携内容については今後、双方で検討を進めていきますが、両大学の学生及び教職員の交流、ベトナム・ハノイ市での聖徳大学の教職員による短期公

開講座の実施、ベトナム人保護者向けセミナーの企画運営といった、主に幼児教育分野での協力を目指すことで合意をしました。

協定締結式は聖徳大学で執り行われ、川並純理学園長より、グエン・ヴァン・ミン学長をはじめとする国立ハノイ教育大学の代表団に、来日に対する感謝の意が表されました。また、今回の協定締結を契機として、お互いの共通理解を更に深め、より強い協力関係を構築することへの期待が述べられました。

ミン学長からは、今回の協定締結に対する喜びと、この協定がもたらす両大学間の学術交流、ひいては両国間の更なる友好関係の発展につながることに對する期待の言葉が述べられました。

三田キャンパス 港区「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰」 優秀賞を受賞

学校法人東京聖徳学園（聖徳大学幼児教育専門学校、聖徳大学三田幼稚園）は、国産木材を活用した「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰」において優秀賞の受賞が決定し、十月二十六日（木）に行われた表彰式に出席しました。

三田新キャンパスで使用されている木材（スギ、ヒバ、ヒノキ）は、港区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結

している自治体の木材（石巻市、坂井市、あわら市）で、港区での二酸化炭素固定量を増やすとともに、国内の森林整備の促進による二酸化炭素吸収量の増加を図り、地球温暖化防止に貢献することを目的とした木材です。

本表彰制度は、令和四年度に認証された建築物の中で、木造・木質化の優秀な取り組みをした建築物を選定するもので、三田幼稚園子ども図書館の壁面書架は、明



中央が川並弘純理事長

令和五年秋の叙勲受章者

十一月三日付で令和五年秋の叙勲・褒章受章者が発表され、本学園関係者より二名の方が受章されました。心よりお祝い申し上げます。

・瑞宝双光章
（文部科学行政事務功労）



聖徳大学事務局長
辻正行様

・旭日中綬章
（芸術文化功労）



世界的照明デザイナー（聖徳大学松戸キャンパスの照明や一号館の家具をデザインしていただきました。）
石井幹子様

大学・看護学部看護学科

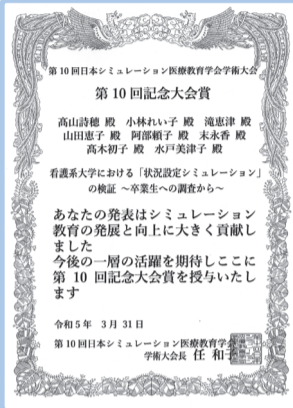
本学では高機能シミュレーションを活用し、臨床場面を想定した看護実践する演習を行い、看護実践力を育成しています。このシミュレーション教育に携わる本学の教員八名が第十回日本シミュレーション医療教育学会学術大会にて「第十回記念大会賞」を受賞しました。

● 題目

「看護系大学における『状況設定シミュレーション』の検証
～卒業生への調査から～」

● 受賞教員

高山詩穂先生、小林れい子先生、滝恵津先生、山田恵子先生、阿部頼子先生、末永香先生、高木初子先生、水戸美津子先生、教職員一同、心よりお祝い申し上げます。



■ 取手聖徳女子高等学校

第二十三回 東日本吹奏楽大会

金賞 第一位受賞！

吹奏楽コンクール高等学校の部B部門（小編成部門）の最高位の大会である「第二十三回東日本吹奏楽大会」が、十月八日（日）に山梨県のYCC県民文化ホールで開催され、東関東支部代表として出場した本校吹奏楽部が、見事「金賞」を受賞し、あわせて出場校中第一位の成績をおさめることができました。

本校吹奏楽部は、昨年までA部門（大編成部門）に三十名で出場し、毎年東関東大会に出場していましたが、これからの活動を考え、

生徒たちの頑張りはもちろんですが、学校の友人、先生方、保護者の皆様、そして何よりもいつも私たちに応援してくださっている皆様方のおかげで、このような成績をおさめることができました。

今後、常に感謝の気持ちを持って活動に取り組んでまいります。



吹奏楽部の活躍やコンクールへの取り組みの様子は『朝日新聞DEGITAL』でもご覧ください。

◆十月六日付
「決まり文句の言い訳を乗り越えて 取手聖徳女子がめざす東日本吹奏楽に初出場へ」

◆十月八日付
「取手聖徳女子、日本航空、福井商など六校金賞 東日本吹奏楽高校の部」

◆十月九日付
「小編成に変えて取手聖徳女子が初出場で金賞 東日本吹奏楽大会」

アートパーク16

「ニューワールド爆誕」

九月十日（日）、松戸中央公園で「アートパーク16」(ニューワールド爆誕)（主催 聖徳大学児童学研究所、聖徳大学生涯学習研究所）を開催しました。今回はコロナ前と同様のアートパークの開催方法に戻し、公園各所で十三のワークショップを行いました。当日は、千二百名を超える親子の参加があり、一日アートを楽しめました。

大学からは児童学科の大成ゼミ、関口ゼミ、西園ゼミ、祓川ゼミ、音楽I研究室（余村ゼミ、田中ゼミ、馬場ゼミ）、児童文化コース有志等が参加。短期大学部

保育科からは北沢Grが参加しました。地域からは保育園、松戸市立中学校美術部有志、まちづくり団体、児童館、アーティストなど六団体が参加し、四月からハイブリッド会議を重ね実施に至りました。

大成ゼミは、ダンボール製の「カンガルー」が「かんが☆エール」の下でダンボールを積んだりつなげた絵の具遊びを行いました。西園ゼミは「GoGo



大成ゼミ



もりのようふくやさん 北沢Gr



ポロロン森の音楽会 音楽I研究室

ライド」ピー玉転がし制作は大人気でした。祓川ゼミは「やさしいスタンプリ」の食育のクイズをスタンプリで楽しめる企画を行いました。

初参加の音楽I研究室の三つのゼミは、合同で子どもたちのために音楽会を開きました。北沢Grは保育園と協力し「もりのようふくやさん」を実施。カラフルなビニールで服を作ってファッ

ションショーを行いました。どの団体も身近な材料を使って遊べる場を作りました。地域でアート活動を推進しているPARADISE ARTは「掘った形を発掘しよう」を行いました。シャベルで掘った形に石膏を流し、型取りして楽しみました。

参加者はいつもと違う公園で思う存分アートを楽しんでいました。参加した学生からは「子どもの表現を身近で見ることができて、勉強になりました」四月から長時間、仲間と準備をしてきたので、活動がうまくいった感想がありました。

「アートパーク」は今後も地域と連携し、公園を核に学生、市民が楽しめるアートプロジェクトとして更に発展させていきます。

令和五年度 秋期 大学院入学式 大学院学位記授与式 大学・短期大学部 卒業証書学位記授与式

九月十六日(土)九時半より香順メディアホールにおいて令和五年度聖徳大学大学院の秋期入学式が挙行され、通学課程二名、通信課程一名が出席しました。

川並弘純学長は、学長告辞の中で「自らの夢を実現するため、これから始まる学生生活の中で日々研究を積み重ねてほしい」と歓迎の言葉を述べました。続いて、学生による宣誓は、入学生を代表して音楽文化研究科博士前期課程(通学課程)の秋期入学式が



入学生代表による宣誓

て、学生による宣誓は、入学生を代表して音楽文化研究科博士前期課程(通学課程)の秋期入学式が

程)の大橋葉月さんが務め、これから始まる研究生生活への意気込みを示しました。入学生たちは新たな学生生活に向けてスタートを切りました。

また、同日十一時から、令和五年度秋期聖徳大学大学院学位記授与式、聖徳大学卒業証書学位記授与式、聖徳大学短期大学部卒業証書学位記授与式を挙行しました。

大学院修士課程修了者全八名(うち通信課程七名)、大学百四十二名(うち通信課程百二十四名)、短大五名(うち通信課程四名)の修了卒業生が出席し、川並弘純学長より代表学生に学位記、卒業証書が授与されました。

川並弘純学長は「価値観の多様化の中でなくしては



学位記授与

ならないものは人間性やコミュニケーションであり、一番大切なのは人の心である。正しいと思った答えでも翌日には価値観が覆るような世の中ではあるが、必ず明るい出口がある。これからの人生が豊かで活躍できるように」とはなむけの言葉を送りました。

千葉県教育委員会と聖徳大学大学院 教職研究科の連携に関する覚書を締結



腰川一恵教職研究科長と中西健教育振興部長

聖徳大学大学院教職研究科は、九月十一日(月)、千葉県教育委員会と連携に関する覚書を締結しました。

今回、連携協定を結んでいる千葉県教育委員会と聖徳大学大学院教職研究科が連携して教育管理職養成プ

ログラムを構成し、そのプログラムにム修了者について、教頭選考の一頭選考の一次免除に関する内容を令和六年度千葉県公立学校校長・教頭候補者選考実施要項に示されることとなりました。

覚書締結式では、はじめに中西健教育振興部長より締結の意義について挨拶がありました。続いて、本学大学院腰川一恵教職研究科長から、大学院教職研究科への長期研修生の派遣に対する感謝とともに引き続き

松戸商工会議所との「ライブ企画 街角カナルH SEITOKU SOUND STATION & FOOD STAGE

十一月三日(金・祝)、キテミテマツド前広場において「街角カナルH」を開催しました。この企画は、街の魅力を創出する一環として、飲食をしながら音楽を楽しむ空間をコンセプトに、本学有志学生十二名が松戸商工会議所との検討会を重ね、実現しました。

の連携の重要性についての挨拶がありました。今回の覚書締結式は、聖徳大学大学院教職研究科の未来への発展につながる礎の一つになるものです。ご期待ください。

当日は、松戸商工会議所待山克典会頭、本学川並弘純学長による期待と感謝が込められたオープニングの挨拶がありました。秋晴れの下、特設ステージにおいて本学音楽学部学生による声楽・電子オルガン・管弦アンサンブル・合唱ユニットの披露や弦楽同好会、S(聖)D(徳)A(安)N(音)S(奏)N(奏)の演奏が行われました。イベントを見に来た子どもたちや、熱心に耳を傾ける多世代のご家族の客



席からはアンコールの声もあがり、松戸地域の飲食店が調理する料理とともに、本学学生の奏でる音を楽しんでいました。



聖徳大学短期大学部 総合文化学科 だより

UR常盤平団地で第二回 古本まつりを開催

短期大学部総合文化学科では、地域貢献活動の授業の一環で、十月二十一日(土)・二十二日(日)に、第二回古本まつりを開催しました。

古本まつりは、多世代の交流やSDGsへの貢献を目的として、UR都市機構と常盤平団地自治会の全面的な協力のもと、開催しています。

地域の皆様から回収した本を約二千冊展示し、自由にお持ち帰りいただきました。

今年は展示の仕方にも力を入れて、本から選んだ心に残る名言を印刷して壁を飾ったり、ポップを添えて



本を展示したりと工夫をしました。

しおりや手の込んだ折り紙、ブックカバーなど、手作りのお土産もたくさん用意しました。読み聞かせなども行い、「お姉さんと遊んでもらって嬉しかった」



た開催してください」などの感想が寄せられました。UR常盤平団地の秋の風物詩として、この活動を継続していく予定です。

大学・心理・福祉学部 社会福祉学科 養護ボランティア活動に 参加しています

社会福祉学科養護教諭コースでは、松戸市教育委員会と連携して養護ボランティア活動を実施しており、将来養護教諭になることを目指して学ぶ一年生から四年生までの学生が、松戸市内の小中学校においてボランティア活動に積極的に参加しています。

養護ボランティア活動は、学校における教育活動に参加することを通じて教育職員としての意識を高めるとともに、児童生徒や教職員と直接関わることで、教育現場での養護教諭としての実践力を高めることを目的としています。



具体的なボランティア活動は、健康診断の補助(歯科健診の記録や内科健診の誘導等)、運動会・体育祭の救護補助、就学時健康診断の補助、保健指導の補助(歯

科指導の準備)などで、養護教諭の職務補助を中心として、様々な教育活動に参加しています。年間を通じて依頼があるため、養護実習では経験できない学校行事や教育活動を体験でき、学生にとって非常に有意義な経験になっています。

参加学生からは「健診の準備や具体的な流れ、職員連携、学校医との調整について学ぶことができた」「就学前の子どもに対する声掛けや対応の仕方があり、発達段階や理解度に合わせることの必要性を学んだ」などの感想がありました。また学校現場からは「礼儀正しく、学ぶ意欲と責任感が感じられ頼もしかった」「臨機応変に積極的に動いてくれた助かった」と好評を得ることができました。

聖徳大学・千葉県教育委員会共催 特別支援教育フォーラム2023 「特別支援教育の未来を考える」を開催

十月二十八日(土)、本学七〇一教室において、聖徳大学と千葉県教育委員会の共催による「特別支援教育フォーラム2023」を開催しました。今年度は、副題に「通常の学級」とつながる「特別支援学級」「通級による指導」の実践を掲げました。この副題の背景には、昨年後半に小中学校の通常学級に発達障害の児童生徒が八・八%在籍しているという発表を受け、これまで以上に通常学級における特別支援教育の充実が求められていることがあります。



川並弘純学長の挨拶(手話通訳付き)

開会の挨拶の中で、川並弘純学長より、第七回目を迎えたフォーラムを対面とオンラインとハイブリットな形で実施する意義と、本学が特別支援教育の充実を重点の一つとしてしていると話がありました。続いて、千葉県教育庁教育振興部特別支援課長の杉村氏より、第三次千葉県特別支援教育推進基本計画について、そして本フォーラムの果たす役割についての意義が示されました。



熱気あふれるシンポジウム

第一部は文部科学省初等中等教育局視学官菅野和彦氏による「小・中・高等学校における特別支援教育を担う教師の専門性の向上のために」と題した基調講演が行われました。その中で自立活動の内容の考え方、指導の進め方等について具体的な実践についてのお話がありました。

第二部のシンポジウムは、四名のシンポジスト、小学校通級による指導担当の茂原市立萩原小学校鈴木あやか教諭、小学校特別支援学級担任の君津市立南子安小学校の宮越淳教諭、中学校特別支援学級担任の船橋市立法田中学校武田芳樹教諭、高等学校通級による指導担当の古山勝教諭による実践発表が行われました。本学の学生や院生、チャットによる質疑応答が行われ、活発なシンポジウムとなりました。最後に、腰川一恵教職研究科長から、講師の方々への御礼の言葉と、来年度に寄せる期待が述べられ、閉会となりました。

聖徳大学海外研修報告

本学では、建学の精神「和」に基づく人間教育の一環として、海外研修旅行を行っています。グローバル化する社会でも対応できる人間性や協調性を高めることを目的とし、各学科またはコースごとに異なるプログラムを実施しています。今回は、児童学部児童学科の旅行を紹介します。

児童学部児童学科 ヨーロッパ研修旅行

九月二十七日(水)から十日間、児童学科保育士養成コースの学生がドイツ・チェコ・オーストリアでの研修旅行を行いました。

「本物に接することでの豊かな学び」を目的とした今回の研修旅行では、各国の歴史や文化に触れるとともに、現地の保育者や子どもたちとの交流を通して、学生一人ひとりが国際性豊かな知識を磨き、異文化に対する理解を深める機会となりました。

最初の訪問国ドイツでは、ヴァルトブルク城、バッハ



フレibel生家見学(ドイツ)

最初の訪問国ドイツでは、ヴァルトブルク城、バッハの生家を見学しました。また、バートブランケンブルグでは、世界で最初に幼稚園(キンダーガルテン)をつくったフレibelの博物館と生家を見学しました。幼児教育の原点に触れ、学生は多くの学びを得たようです。

次の訪問国チェコでは、プラハ城、聖ヴィート教会、カレル橋、チェスキー・クルムロフ城などを訪れました。中世そのままの町並みを今に残している景観から歴史と文化を堪能しました。三カ国目のオーストリア(ウィーン)では、学友協会、シエーンブルファン大聖堂、シエーンブル



幼稚園訪問(オーストリア)

ン宮殿などを見学しました。モーツァルト、ハイドゥン、ベートーヴェンらが活躍した「音楽の都」で芸術を感じる二日間を過ごしました。各訪問地では、メモを取りながら真剣に添乗員の説明を聞き、歴史や文化、芸術、生活についての理解を深めました。

ドイツのワイマール、チェコのプラハ、オーストリアのウィーンでは、幼稚園を訪問しました。訪問先では、先生方による各国の教育・保育制度や保育者の役割、子どもを取り巻く環境などについての講義を受ける時間があり、学生たちは興味深く聞き入るとともに、積極的に質問をしていました。子どもたちとの交流では、日本の手遊びや歌を披露し、お土産に持って行った折り紙や新聞紙の製作物を通して、子どもたちとコミュニケーションを深めていました。

令和五年度秋学期 全学FD・SD研修会

十月二十日(金)、令和五年度秋学期全学FD・SD研修会が本学七三〇一教室とオンラインにて行われました。今回のテーマは「これからの大学ガバナンス・教員マネジメントの在り方」内部質保証のシステム構築をめざして」と題し、中央教育審議会大学分科会臨時委員を務められた清水一彦学長特別補佐を講師として、大学設置基準の改正の内容とそれを踏まえた教育の質保証システムの改革について講演を行いました。

第五十六回 香和会総会・懇親会を 三田キャンパスで開催

九月十七日(日)、聖徳大学三田キャンパスにて、第五十六回香和会総会を開催しました。当日は顧問・教職員・役員・会員の合計六十四名が参加しました。三田キャンパスツアーを実施し、環境に配慮した幼児教育、二十一世紀型の拠点を感じてきました。

十月二十日(金)、令和五年度秋学期全学FD・SD研修会が本学七三〇一教室とオンラインにて行われました。今回のテーマは「これからの大学ガバナンス・教員マネジメントの在り方」内部質保証のシステム構築をめざして」と題し、中央教育審議会大学分科会臨時委員を務められた清水一彦学長特別補佐を講師として、大学設置基準の改正の内容とそれを踏まえた教育の質保証システムの改革について講演を行いました。

九月十七日(日)、聖徳大学三田キャンパスにて、第五十六回香和会総会を開催しました。当日は顧問・教職員・役員・会員の合計六十四名が参加しました。三田キャンパスツアーを実施し、環境に配慮した幼児教育、二十一世紀型の拠点を感じてきました。



懇親会参加者たち



清水一彦学長特別補佐

講演を行いました。清水先生が関わられた法人での取り組みや学習成果の可視化の方法など大変興味深い内容でした。また本学においてこれまで取り組んできた教育の質保証システムについての評価と、さらに大学設置基準改正に伴う本学の課題についての説明がありました。

全学FD・SD研修会終了後のアンケートでは、「大」となる参加者へティファニーグラスを、さらに今年度から四十年記念品をまだいだいていなかった参加者には記念品として桂由美オリジナルの錫製ハートのペア箸置きが贈られました。そして会場いっぱい学園歌を斉唱して、比嘉真弓九州・沖縄支部長による閉会の辞があり散会となりました。

最後に、卒業四十年記念

募金だより

「確定申告」の手続きにより、寄付金控除が受けられます。

聖徳学園へのご寄付は、文部科学省より寄付金控除の対象となる証明を受けているため、所得税の控除を受けることができます。

個人の方が寄付した場合の控除手続きには、所轄税務署での「確定申告」が必要です。お手元のパソコンやタブレット端末を利用して、国税庁のホームページ「確定申告書等作成コーナー」から、お手続きいただけます。

寄付金の控除は、一月一日から十二月三十一日までにを行った寄付金額の総額で計算するため、額が確定する翌年(二月)に手続きを行います。寄付をいただきました方には、募金課より寄付金受領書と証明書をお送りしておりますが、確定申告の手続きには、これらの書類が必要となりますのでお手元で大切に保管してください。

受領書の再発行をご希望の場合は、「聖徳へのご寄付について」ホームページの「お問い合わせ先」より承っております。

ご協力ありがとうございました

「聖徳学園創立九十周年記念募金」寄付者芳名一覧

- 法人・団体
二〇〇,〇〇〇円 スポーツ施設株式会社 様
一〇〇,〇〇〇円 医療法人社団いとおり 株式会社クオリタス・ホスピタリティ・アドバイザーズ 様
株式会社クレイグ・コンサルティング 様
有限会社篠崎登商店 様
個人
五〇〇,〇〇〇円 河村 守康 様
山口 富彌 様
二〇〇,〇〇〇円 星野 伸之 様
一〇〇,〇〇〇円 川並 珠緒 様
松田 崇 様
五〇〇,〇〇〇円 太田 富美子 様
川並 響子 様
川並 弘順 様
川並 和香 様
福井 淳史 様
福井 知香 様
古畑 公 様

幼児教育専門学校

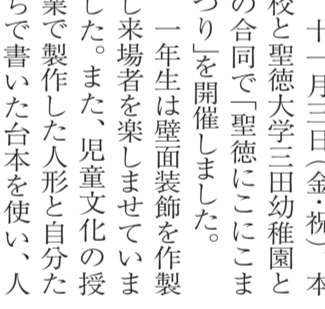
合同運動会を開催



九月三十日(土)、本校と聖徳大学三田幼稚園の合同運動会を芝浦小学校の校庭で開催しました。この運動会は、保育者を目指す学生として、楽しく園児と共に日頃の成果を発揮し、運動会運営の計画、準備、実行等について学ぶことを目的としています。

学生たちは、学生役員として、競技進行・園児係・放送係を担当しました。早朝の会場設営から終了後の片付けまで、運動会を運営する上での具体的な方法を、実践的な学習として体験しました。

聖徳にこにこまつり 子どもと関わる楽しさを実感



十一月三日(金・祝)、本校と聖徳大学三田幼稚園との合同で「聖徳にこにこまつり」を開催しました。一年生は壁面装飾を作製し来場者を楽しませていました。また、児童文化の授業で製作した人形と自分たちで書いた台本を使い、人形劇や手遊び、パネルシアター等を行いました。演じながら、子どもが本当に楽しいと感じるお話や人形の動きはどのようなものかを実感することができました。

また、三歳児、四歳児、五歳児ごとの発達段階を間近で観察し、記録することができました。さらに、今年度から「保育体験プログラム」の授業の一環として、運動会のリハーサルを見学しました。幼稚園の教員としての役割や幼児との関わり方を事前に見学したことで、運動会当日は、リハーサルで学んだ個々の課題を自覚しながら意欲的に活動することができました。

専門学校生の参加種目のための体操、園児とのフォークダンスでは日頃の授業の成果を発揮して素晴らしい演技を披露することができました。運動会後のレポートからも、園児たちとの関わりの中、改めて保育者になりたいと強く感じた学生が多く見受けられました。最後まで、笑顔絶えずこたく、充実した時間となりました。

暖かくして、感染に備えましょう!



保健センター

所長だより



今年のインフルエンザウイルス感染は、異例なことに夏場に流行し、秋には多くの幼児、児童、生徒や学生が感染しました。この四年間のコロナ禍では、しっかりと感染対策(不織布マスクの着用、社会的距離を置くなど)により、インフルエンザなどの感染症が激減いたしました。ご存じのように、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症

法上の扱いが、二〇二三年五月八日より二類から五類となり、感染対策が個人・事業者の判断が基本となりました。インフルエンザウイルスなどに対する免疫が低下した状態で、感染対策が個人・事業者の判断となったことが、インフルエンザなどに感染しやすくなったことの原因の一つと考えられています。

は、もともと、低温と低湿で、感染が蔓延しやすいと言われています。インフルエンザなどのウイルス感染症の予防には、体を温めることが、免疫力を高める上で大切です。お風呂にゆっくり入り、首、手首、足首などを温めることが勧められます。また、お食事でも鍋など暖かいものを召し上がり、野菜(特に根菜類)、果物などビタミン豊富な食材も摂るようにはいたしましょう。暖かくして、十分な睡眠をとることも大切です。また新型コロナウイルス感染症(COVID-19)、インフルエンザ予防ワクチン接種も大切です。



授業の成果を発揮して素晴らしい演技を披露することができました。運動会後のレポートからも、園児たちとの関わりの中、改めて保育者になりたいと強く感じた学生が多く見受けられました。最後まで、笑顔絶えずこたく、充実した時間となりました。

光英VERITAS中学校・高等学校

【JICA】国際理解講演会

十月二十五日(水)、中学生対象の国際理解講演会を開催いたしました。今回はJICA(ジャイカ)という独立行政法人国際理解機構で、開発途上国への国際協力を行う団体で活躍されている、宇井美佳氏が講演されました。



講演の最初に、ジャマイカの言語や経済、食べ物、動物、教育や文化について詳しく、丁寧に話が聞かれました。興味津々に話を聞いていたのは、宇井氏がジャマイカで実際に経験した、人種差別についての話題になりました。なぜ人種差別が起るのだろうか、という問いに対し生徒一人一人が考える時間があり、生徒二名が実際に考えを発表しました。生徒の意見や宇井氏のお話にもありましたが、グローバルな視点を持つこと、日本の国を知ってもらうこと、相手の状況を理解することなどが挙げられました。また、直接支援に行くことだけでなく、日本に居ながらも様々な支援ができることも教えていただきました。講演後の質疑応答では三学年とも活発に挙手をして、盛り上がりを見せた非常に良い講演会でした。今自分たちができることについて、国際理解の視点から生徒とともに考える良い機会になりました。

そのため、実際の遊びコーナーでも、学生は子どもが遊び始める前に、遊び方やルールを子どもの目線に合わせて説明をしたり、子どもの行動に合わせて言葉かけをしたりと、それぞれの年齢に合わせた伝え方をしていました。一人ひとりの子どもたちが楽しめるように、安全面に配慮し、笑顔

を忘れずにお姉さん先生として対応することができました。

また、二年生は、幼稚園や人形劇の運営を手伝ったり、オープンキャンパスや見学に来た保護者に笑顔で対応したりしていました。

幼稚園と専門学校とお客様の心が一つになり笑顔があふれた一日となりました。

取手聖徳女子高等学校

第四十一回聖徳祭を終えて

今年も四年ぶりに、一般のお客様を迎えて十月十四日(土)・十五日(日)の二日間にわたり「第四十一回聖徳祭」を開催しました。

今年の聖徳祭は「百花聖放」に「伝統を未来へ」をテーマに掲げました。「百花聖放」はさまざまな学問・芸術が盛んに行われることを言い、聖徳にちなんで「齊」の字を「聖」にしました。卒業生も多く来校し、教員

たちと懐かしい話に盛り上がりました。また、同時開催の入試説明会では、昨年度の二倍となる受験生が来校しました。

聖徳祭実行委員や明和会(生徒会)を中心に、準備や企画・運営まで責任をもって取り組んだ生徒たち。ステージ発表では、部活動や音楽科及び有志の団体が多数出演し、工夫を凝らした発表で盛り上がりました。

また、クラスや部活動、さらには委員会や学年での催しや出店も大盛況でした。

今年度は学園創立九十周年の展示を五年生(高二)が企画したり、卒業研究プレゼンテーションを六年生が行ったりと、幅広い企画で、入試説明会に来校した受験生も楽しんでいました。

後援会や吹奏楽部父母の会、聖朋会(同窓会)による出店も大盛況となりました。

来年度も通常通り開催できることを願っております。



附属小学校

環境意識を高める「みどりの小道」環境日記

環境問題は、これからの時代を生きていく子どもたちにとって、切実な問題です。地球温暖化が進み、もしも南極の水がすべて溶けてしまったら、海全体の水位が四十〜七十mも上昇するそうです。そうなれば、海抜の低い場所は水没してしまうことでしょう。

そんな暗い未来を避ける方法の一つが、私たちの意識改革です。今回で参加二十四回目となる「みどりの小道」環境日記コンテスト。児童たちが八週間、環

境をテーマとした日記を書きます。日記を書くことを通じて、「今、私たちができること」について考えました。

今年参加した四年生の金子ひまりさんに、話を聞いてみました。

Q 環境日記をつけて、何か変わったことはありますか？

A 電気をつける時間や水を流す時間を短くしたり、鉛筆をギリギリまで使ったりするようにしました。

Q 環境日記で、特にがんばったことはなんですか？

A 日記を書きながら「環境

を流す時間を短くしたり、鉛筆をギリギリまで使ったりするようにしました。

Q 環境日記で、特にがんばったことはなんですか？

A 日記を書きながら「環境

六学年授業研究

『やまなし』を読む

一九七一年に教科書(光村図書)に採用され、現在まで掲載されている、宮沢賢治の『やまなし』。「クラムボン」は笑ったよ、「クラムボン」はかぶかぶ笑ったよ」というファンタジーな表現で、記憶に残っている方も多いでしょう。

「難教材」「教師の力量が問われる」など、扱いにくい教材という印象の強い物語文ですが、六年担任の加藤駿教諭が、授業研究で取り上げました。

この日の授業の学習問題は「なぜ、この物語の題名を『やまなし』にしたのか?」でした。「幻灯」「かにの子ども」「クラムボン」か

「やまなし」の話を終ったから「やまなし」の意味を、読者に考えてもらいたかったから「生きる嬉しさを表しているから」「(命を奪う)カワセミと反対のプラスのイメージがあるから」など、様々な意見が出されました。

本校国語科の研究主題は、「分析的に読み、問いを生み出す授業」です。本時ま



中央が金子さん

にやさしい行動一覧」を作りました。例えば、マイ箸やマイボトルを持ち歩いて使い捨てをしないようにしよう、なるべく公共交通機関を使う、などです。

環境日記を通して、「環境意識」が高まり、それが行動につながって、子どもたちの未来が明るいものとなることを切に願っています。

幼稚園短信

聖徳大学三田幼稚園

楽しかったね「こごごまつり」

十一月三日(金・祝)、幼稚園、専門学校の幼稚園父母の会、エプロンパパ(有志の会)主催による「こごごまつり」が開催されました。

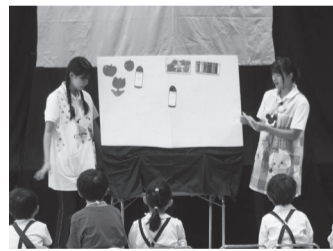
今年度は、コロナウイルス感染症が五類となったこともあり、人数制限のない賑やかなお祭となりました。

専門学校では、三階のホールで学生による人形劇やラウンジで子どもたちが楽しめるゲームが

行われました。

幼稚園では、子どもたちが日頃興味を持っているボール遊びのゲームコーナーや、保育室を迷路にしたピックリハウスを作り、大盛況でした。

父母の会は、本園が九十周年となる今年、ダンボールで「90」の文字を作り、お祝い



る向きに身体を変えて踊る姿は、可愛らしさと共に成長をしっかりと感じる事ができました。

三歳児桜組は「元氣」をテーマに遊戯をしました。一つの円を作る隊形移動では、皆で協力して作る楽しさを味わうことができ、成功した時の子どもたちの表情はとても生き生きとしていました。

四歳児梅組は「スイミー」をテーマに遊戯をしました。二つの円や大きな一つの円、魚の形になる隊形移動はもちろんのこと、手足を滑らかに動かして踊る姿は、本物の魚のようでまさにスイミーの世界を感じることができました。

五歳児松組は「和」をテーマに日本の伝統文化を取り入れた遊戯をしました。組体操なわとび、うちわを使ってキレのある踊りと迫力のある掛け声は、圧巻の演技でした。その姿は他学年の園児たちの興味を引き、「かっこいいね」「おどろいた」と、憧れを抱いて喜んでいました。

たくさんの方々の温かいご協力と力強いご声援のおかげで、最高の運動会となりました。



聖徳大学八王子幼稚園 第五十回運動会 「たぐさんの応援に包まれて」

十月七日(土)に東京工業高等専門学校のグラウンドにて第五十回運動会を開催しました。子どもたちのために、グラウンドをベストな状態にしようと、お手伝いのお父様、父母の会の幹事の皆様が整備を行ってくださったため、綺麗なグラウンドで開催することができました。

未就園児ちゅうりっぷ組は幼稚園の体操着を着て、かけっこと親子フォークダンスをしました。

満三歳児ひまわり組の遊戯は「どうぶつえんへいこ」の歌に合わせて踊りました。担任の笛の合図で後



5歳児・松組「組体操(片手バランス)」

たぐさんの温かいご協力と力強いご声援のおかげで、最高の運動会となりました。

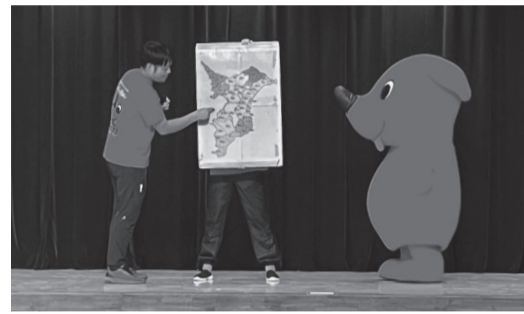
聖徳大学附属幼稚園 チーバくん 遊んだよ

十月二十七日(金)、千葉県マスケットキャラクター「チーバくん」が幼稚園に遊びに来てくれました。「もうチーバくん来た？」と何度も玄関の様子を見に来る園児たち。ドキドキしながらチーバくんを待ちました。



遊戯室に全園児が集まりイベントの始まりです。全園児が「チーバくん」と元気な声で呼ぶと、軽快なステップでチーバくんがステージに登場！みんな身を乗り出して大喜び！初めて会ったチーバくんも仲良くなるためにご挨拶をしました。その後、ダンス「アブラハムの子」の踊りを園児たちがチーバくんに教えました。チーバくんがリズムに乗ってダンスをすることや階段の上り下りがとても上手なことに驚きました。

続いてクイズタイム。チーバくんの横向きの姿は千葉県県の形にそっくり。幼稚園の所在地である松戸市はチーバくんの鼻の下であることがわかりました。千葉県の有名な場所や特産物がわかるパズルは「チーバベリ」粒すけ」という新品種のいちごや米を初めて知るきっかけとなりました。チーバくんからのプレゼントをかけた、教員とスタッフの方



とのゲーム対決では園児たちの応援ボルテージが最高潮。やっとの思いで教員がゲームに勝つと拍手喝采でした。

楽しい時間はあっという間。お別れの前にチーバくん一人ずつタッチして触れ合います。よほど嬉しかったのか抱きついてなかなか離れようとしないうちもいきました。全園児教職員一緒に満面の笑顔で記念撮影もし、園児たちの思い出に残る一日となったことでしょう。

聖徳大学多摩幼稚園 地域交流デー

幼稚園では、未就園児を対象とした、げんき広場(園庭開放)を行っています。近所の高齢者の方々とともに接する機会を設けるため、初の試みとして地域の高齢者と子どもたちが交流できる「地域交流デー」を十月十九日(木)に行いました。

当日は、年長組の初めての言葉で始まり、運動会で行った遊戯や全園児リレーを披露しました。満三歳児組や年少組も年中組や年長組に混ざって、一所懸命に園庭を走ると、同じチームの子どもたちから「〇〇ちゃん頑張れ」「いけいけいけ」と大きな声で応援にも熱が入りました。お客様の前を通るとお客様も拍手をしながら「頑張れ」と声援を送ってくださいました。その後、子どもたちが輪になつているところへお客



様が近づくと「ここ入っていいよ」「ここどうぞ」と友達とつないでいた手をぱつと離し、輪の中へ誘導し、一緒にフォークダンスを行いました。フォークダンス後には突然の声かけにもかかわらず、年長組の子どもたちと一緒に大玉ころがしを行い、楽しみました。お客様と子どもが二人一組になつて行いましたが、人数が合わず子ども同士になつてしまつたと「私お客様と一緒にやりたかった」という声が聞かれたため、急遽二回戦をやることになりました。お互いに顔を合わせて「楽しかったね」と声をかけたり、「一緒にしてくれてありがとう」と言っています。「こちらこそ」と笑顔いっぱいでお話をしたりと、すっかり仲良しになりました。楽しい時間を過ごした後はお土産を渡し、「また来てください」「また一緒に遊ぼうね」と大きな声で手を振りながらお見送りをしました。

自分の生活に関係の深いいろいろな人とふれあい、自分の感情や意思を表現し、共に楽しんだことで、人と関わることの楽しさや人の役に立つ喜びも味わうことができました。交流会となりました。

聖徳大学附属成田幼稚園 クリスマス点灯式 イオンタウン成田富里にて

十一月三日(金・祝)に、イオンタウン成田富里のイベント広場で行われた「クリスマス点灯式」に、五歳児松組の園児が参加しました。当日のイベント広場は、保護者のみでなく、おじい様やおばあ様、幼稚園の満三歳児・年少・年中組の親子、また一般の来場者等のたくさんの方で埋め尽くされていきました。



のトナカイ「We Wish You a Merry Christmas」の歌を歌いました。多くのお客様の前でしたが、堂々と歌うことができ、たくさん拍手をいただきました。園児達も

笑顔になつていきました。歌の後に、「5・4・3・2・1」と声を合わせて、クラッカーを鳴らすと大きな大きなクリスマスツリーにキラキラと灯りが灯りました。それを見た園児やお客様は、大喜びしていました。

今回の「クリスマスツリー点灯式」は、イオンタウン成田富里店のイベント担当の方から話があったものです。外部のイベントに参加するのは、今回が初めてでしたが、園児たちも喜び、保護者の方々にも大変満足していただきました。

少し早い「クリスマス」を感じ、卒園まであと半年をきった松組にとって、また一つ幼稚園での思い出ができました。

聖徳大学附属第二幼稚園 園外保育

さわやかな秋風が吹き、木々の葉も色づき始めた十月。本園では各学年「園外保育」に行きます。登園後幼稚園バスに乗って、満三歳児パンダ組は近隣の小金原中央公園、三歳児桜組は21世紀の森と広場、四歳児梅組は聖徳大学附属小学校、五歳児松組は、はとバスに乗って葛西臨海水族園に、乗って園外で行きます。

十月十七日(火)、四歳児梅組は附属小学校へ園外保育に行きました。天候も良

く十月とは思えないくらい日差しが眩しい気持ちの良い日でした。普段は幼稚園の給食ですがこの日はおうちの方が作ってくださいました。登園後すぐに友達と笑顔でお弁当の話をしている姿も多く見られました。

小学校に到着すると、校庭周りにあるたくさんの木々の下に落ちてはいる、いろいろな種類のどんぐりを一つひとつ拾いました。「こんな形のどんぐり初めて見たよ」「たくさん拾えたよ」と笑顔で拾ったどんぐりを教員や友達に見せ、事前に自分で作ったどんぐりバック



に入れていました。また、広いグラウンドで走ったり、アスレチックも挑戦したりする園児もいました。

四歳児の園児にとって小学校とはどんなところなのか、まだ漠然としている年



齢ですが、「小学校」の雰囲気を感じながら「大きくなったら小学校に行くよ」と小学校に期待を持つことができた園外保育でした。

聖徳大学附属浦安幼稚園 おねえさんと いっしょに遊びました 幼稚園見学実習

十月二十六日(木)、聖徳大学教育学部一年生と聖徳大学幼児教育専門学校生を対象に、実習見学会を行いました。教育実習を行う前に園児と一緒に遊んだり関わったりして少しでも幼稚園に慣れ、園児の実態を把握し、実習に対する不安を取り除き、学生が実習に期待や楽しさを持つことができるよう、毎年大学の附属にある七つの幼稚園で同日に行っています。

学生たちをはじめは緊張した表情で来園しましたが、大学や専門学校の教員と一緒に見学をして説明を聞き、元気な園児の姿を見るうちに、少しずつ緊張がとれ、笑顔が見られるようになりました。



全体会では、四学年ごとの園児の様子を見たり一緒に関わって遊んだりしました。満三歳児パンダ組では、「はとぽっぽ体操」と「わんわんダンス」を見てもらいました。三歳児桜組では、毎日行っている「朝のあつまり」の様子を見てもらいました。ピアノの弾き方や絵本の読み方について実際に保育を見学して参考になりました。四歳児梅組は「イロトリドリ」の遊戯を披露し、学生は隊形変化や、色々な動きの変化に驚いて



いました。続いて「やきいもグーチーパー」を二人組になつて行い、楽しんでいました。五歳児松組は「幼稚園園歌」「まっかな秋」を歌い、「ダンスリトルバード」のフォークダンスと一緒に楽しく踊りました。

最後に、おねえさんから、手作りの動物のプレズレートをプレゼントされ、園児たちは喜んで帰りました。今後も、大学、専門学校と連携を取り、「未来の幼稚園の先生のため」を大切に育てていきます。

令和6年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通学課程】

■ 聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講]
博士後期課程(一般入試、社会人入試、研究生入試)
児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

日程区分	願書受付期間	入試日
B日程	11月24日(金)～12月1日(金)	12月10日(日) 音楽文化研究科:12月9日(土)・10日(日)
C日程*	1月25日(木)～2月2日(金)	2月11日(日) 音楽文化研究科:2月10日(土)・11日(日)

*臨床心理学研究科はC日程を実施しません。

博士前期課程(一般入試、社会人特別入試、私費留学生特別入試、研究生入試)
児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

日程区分	願書受付期間	入試日
B日程	11月24日(金)～12月1日(金)	12月10日(日) 音楽文化研究科:12月9日(土)・10日(日)
C日程*	1月25日(木)～2月2日(金)	2月11日(日) 音楽文化研究科:2月10日(土)・11日(日)

*臨床心理学研究科はC日程を実施しません。

修士課程(一般入試、社会人特別入試)
看護学研究科

日程区分	願書受付期間	入試日
B日程	11月24日(金)～12月4日(月)	12月10日(日)

専門職学位課程(一般入試、社会人特別入試、現職教員特別入試)
教職研究科

日程区分	願書受付期間	入試日
B日程	11月24日(金)～12月1日(金)	12月10日(日)
C日程	1月25日(木)～2月2日(金)	2月11日(日)

令和6年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通信教育課程】

■ 聖徳大学大学院児童学研究科通信教育課程
博士前期課程

区分	出願期間	入試日
春学期入学A日程	1月22日(月)～2月5日(月)	2月11日(日)
春学期入学B日程	2月13日(火)～2月26日(月)	3月3日(日)

博士後期課程

区分	出願期間	入試日
春学期入学	1月9日(火)～2月5日(月)	2月11日(日)

令和6年度 入試日程【通学課程】

■ 聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子)
【総合型選抜】大型型、短大型

入試区分	出願期間	入試日
D日程*	12月1日(金)～12月12日(火)	12月17日(日)
E日程*	2月29日(木)～3月7日(木)	3月13日(水)

*看護学部は実施しません。

【学校推薦型選抜】

入試区分	願書受付期間	入試日
公募制(後期)*	12月1日(金)～12月12日(火)	12月17日(日)

*看護学部は実施しません。

【一般選抜】

入試区分	願書受付期間	入試日
A日程	12月18日(月)～1月15日(月)	1月20日(土)・21日(日)
B日程	2月1日(木)～2月14日(水)	2月19日(月)
C日程	2月20日(火)～3月5日(火)	3月11日(月)

【大学入学共通テスト利用選抜】

入試区分	願書受付期間	入試日
A日程	12月18日(月)～1月31日(水)	本学個別学力試験なし ただし、一部の学科は2月5日(月)
B日程	2月1日(木)～2月14日(水)	本学個別学力試験なし ただし、一部の学科は2月19日(月)
C日程	2月20日(火)～3月5日(火)	本学個別学力試験なし ただし、一部の学科は3月11日(月)

*看護学部の「面接」、音楽学部の「音楽実技等」「面接」「(フロアー・アーティストメジャーのみ)、教育学部教育学科スポーツ教育コースの「スポーツ実技」は上記の入試日に聖徳大学キャンパスで行います。

【実技特別選抜】

入試区分	願書受付期間	入試日
実技特別選抜	2月20日(火)～3月5日(火)	3月11日(月)

【留学生入試・帰国子女入試・社会人入試】

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
私費留学生特別入試 私費留学生特別奨学入試 帰国子女特別入試 社会人特別入試	B日程	12月1日(金)～12月12日(火)	12月17日(日)
	C日程	2月20日(火)～3月5日(火)	3月11日(月)

*看護学部は社会人特別入試A日程のみ実施します。

【編入学・専攻科入試】

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
一般入試 学士入試 社会人特別入試	B日程	12月1日(金)～12月12日(火)	12月17日(日)
	C日程	2月20日(火)～3月5日(火)	3月11日(月)

令和6年度 附属学校 入試日程

■ 専門学校(女子)【AO入試(総合型選抜)】

入試区分	日程	エントリー受付期間	面談日
AO入試 (総合型選抜)	前期	C 11月27日(月)～12月13日(水)	12月17日(日)
	後期	A 1月9日(火)～1月25日(木)	1月27日(土)
		B 1月29日(月)～2月20日(火)	2月22日(木)
	C 2月26日(月)～3月14日(木)	3月16日(土)	

【指定校推薦入試・社会人特別入試】

入試区分	日程	エントリー受付期間	面談日
指定校推薦入試 社会人特別入試	前期	C 11月27日(月)～12月13日(水)	12月17日(日)
	後期	A 1月9日(火)～1月25日(木)	1月27日(土)
		B 1月29日(月)～2月20日(火)	2月22日(木)
	C 2月26日(月)～3月14日(木)	3月16日(土)	

【一般入試(一般選抜)】

入試区分	日程	エントリー受付期間	面談日
一般入試 (一般選抜)	前期	B 11月27日(月)～12月13日(水)	12月17日(日)
	後期	A 1月9日(火)～1月25日(木)	1月27日(土)
		B 1月29日(月)～2月20日(火)	2月22日(木)
	C 2月26日(月)～3月14日(木)	3月16日(土)	

■ 光英 VERITAS 中学校・高等学校(共学)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日	
中学校	第一志望入試 帰国生入試	Web 11月1日(水)～11月30日(木)	12月1日(金)	
	第1回入試	Web		
	VERITAS探究入試 VERITAS理数特待選抜入試	Web 12月2日(土)～1月19日(金)	1月20日(土)	
	特待選抜入試	Web 12月2日(土)～1月21日(日)	1月22日(月)	
	第2回入試 VERITAS英語入試	Web 12月2日(土)～1月23日(火)	1月24日(水)	
高等学校	第3回入試	Web 12月2日(土)～2月3日(土)	2月4日(日)	
	前期入試	特待選抜入試①②	Web 12月17日(日)～1月15日(月)	1月17日(水) または 1月18日(木)
		推薦入試①② 一般入試①②		

■ 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校

入試区分	願書受付期間	入試日
推薦入試 ・一般推薦 ・陸上推薦 ・吹奏楽推薦	郵送 12月6日(水)～12月20日(水)	1月9日(火)
	窓口 12月13日(水)、14日(木) 9:00～16:00	
一般入試兼 学力特待選考 (I)・(II)	郵送 12月6日(水)～1月10日(水)	(I) 1月15日(月) (II) 1月18日(木)
	窓口 12月13日(水)、14日(木)、 1月12日(金) 9:00～16:00	
帰国子女入試	郵送 12月6日(水)～1月10日(水)	1月15日(月)
	窓口 12月13日(水)、14日(木)、 1月12日(金) 9:00～16:00	

■ 聖徳大学附属小学校(共学)

入試区分	願書受付期間	入試日
Ⅲ期入試	11月14日(火)～11月29日(水)	12月2日(土)
Ⅳ期入試 編入(1学期～)	12月5日(火)～1月10日(水)	1月13日(土)

★詳細は、各校の募集要項でご確認ください。

学校説明会関係行事のご案内

*12月から2月までの予定です。詳細及び3月以降の予定につきましては、各校にお問い合わせください。

■ 聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ: 0120-66-5531(直通)

オープンキャンパス 大学・短期大学開催 ▶12月3日[日] 10:30～14:00 令和6年▶2月18日[日] 10:30～12:30

■ 通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

オンライン入学説明会(予約制)	オンライン入学個別相談(予約制)
▶12月17日[日] 13:00～14:10	▶12月3日[日] 10:00～15:00 ▶12月6日[水] 18:00～19:30 ▶12月9日[土] 10:00～15:00 ▶12月10日[日] 10:00～15:00
▶12月13日[水] 18:00～19:30	▶12月13日[水] 10:00～15:00 ▶12月16日[土] 18:00～19:30 ▶12月20日[水] 10:00～15:00 ▶12月23日[土] 10:00～15:00
令和6年 ▶1月7日[日] 13:00～14:10 ▶2月4日[日] 13:00～14:10	令和6年 ▶1月13日[土] 10:00～15:00 ▶1月14日[日] 10:00～15:00 ▶1月17日[水] 18:00～19:30 ▶1月20日[土] 10:00～15:00 ▶1月24日[水] 18:00～19:30 ▶2月3日[土] 10:00～15:00 ▶2月7日[水] 10:00～15:00 ▶2月14日[水] 10:00～15:00

■ 聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

放課後個別相談会	学校説明会
▶12月7日[木] 17:00～19:00 ▶12月21日[木] 17:00～19:00 ▶2月1日[木] 17:00～19:00 ▶2月29日[木] 17:00～19:00	令和6年▶1月11日[木] 17:00～19:00 ▶1月25日[木] 17:00～19:00

■ 光英 VERITAS 中学校・高等学校(共学) ●お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

学校説明会	入試説明会	個別相談会
中学校 ▶2月17日[土] 9:30～11:30 高等学校 ▶12月2日[土] 9:30～11:30	中学校 ▶12月9日[土] 9:30～11:30 令和6年▶1月7日[日] 9:30～ 高等学校 ▶12月2日[土] 9:30～11:30	中学校・高等学校 ▶12月23日[土] 9:30～11:30 ▶12月24日[日] 9:30～11:30

■ 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 ●お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

○ 受験対策相談会	▶12月2日[土] 9:30～11:00	▶12月9日[土] 9:30～11:00
○ 未来校者対象説明会	▶12月16日[土] 9:30～11:30	
○ 中学1・2年生対象 学校説明会	令和6年▶2月17日[土] 9:30～11:30	▶3月9日[土] 9:30～11:30
○ 音楽レッスン・シリーズ(無料レッスン)	▶12月9日[土]	▶12月23日[土] 令和6年▶2月24日[土]

読者の声

ご意見・ご感想の宛先

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただき、ありがとうございます。
今後とも内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) <https://www.seitoku-u.ac.jp/inquiry/>

学校法人

東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第129号
発行人/川並 弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

23.12.1 ret (8,80)

■ 聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ: 047-392-3111(代)

新年長・年中保護者対象 2025 学校説明会(予約制) 令和6年▶1月20日[土] 10:00～11:30

大学・短大 お昼休みに美味しい キッチンカーが登場!

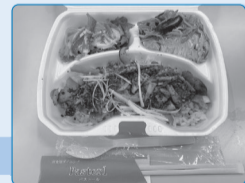
街中やイベントで多く見かけるようになった「キッチンカー」。大学のキャンパスにも10月・11月に期間限定企画としてキッチンカーが出店していました。



パストロールのキッチンカー

松戸駅近くにあるイタリアンの名店「パストロール」をはじめ、ハンバーガー、タコス、おにぎり、フライドポテト、クレープなどバラエティ豊かな店舗が出店しました。

キッチンカーが来る日は学生も教職員もワクワクしてお昼休みを待っていました。



グリルチキンとワッフル(桃)

●フードメニュー▶

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート

長野県佐久市春日 2258-1

かすがの森

休館のお知らせ

いつもかすがの森をご利用いただきありがとうございます。誠に勝手ではございますが、下記の期間を休業とさせていただきます。お客様にはご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

休業期間: 2023年12月15日(金)～2024年3月15日(金)

お問い合わせ先 電話: 0267-52-2111

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション
東京都港区虎ノ門1-1-20



0120-525-126 般 13-300726
13-ユ-300913